※令和４年度以降入学生用

学校番号	４１０

令和８年度　公共

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『公共 新訂版 共につくる未来』（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「公共」では倫理、政治、経済、職業生活、国際社会について学びます。社会に生きる一人の人間として、現代社会の問題を知りその解決に向けて必要な知識や技術を身に付けましょう。
・授業で得た知識や技術を活用し、他の人と意見を共有するためのワークを行います。日頃からニュースを確認するなど、様々な課題や意見に触れ、自分の考えを持つ習慣を身に付けましょう。

2　学習の到達目標

〇考察や選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を習得する。
〇現代社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
〇よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについて自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を考察することを踏まえ、選択・判断するための手がかりとなる概念・理論を理解するとともに、諸資料から倫理的主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を習得している。	現代社会の諸課題の解決に向けて、公共的な空間における基本的原理を活用しつつ、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付けている。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、深い理解や多面的・多角的な考察を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間における国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚がある。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	社会を作る私たち	第１編 第１章 ①青年期と自己形成 ②自己形成の課題 ③キャリアと社会参加 ④伝統・文化と私たち	a)・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 b)社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c)よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	定期テスト グループワーク	定期テスト グループワーク	授業ノート グループワーク

※令和４年度以降入学生用

1	人間としてよく生きる	第１編 第２章 ①古代ギリシアの人間観 ②宗教と人間 ③科学と人間 ④自由の実現 ⑤社会を作る人間	a)・行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 b)社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c)よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	定期 テスト グループ ワーク	定期 テスト グループ ワーク	授業 ノート グループ ワーク

※令和４年度以降入学生用

1	他者とともに生きる	第１編 第３章 ①人間と幸福 ②公正な社会をめざして	a)・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 b)倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し，表現している。 c)よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。	定期 テスト グループ ワーク	定期 テスト グループ ワーク	授業 ノート グループ ワーク

※令和４年度以降入学生用

1	民主社会の倫理	第１編 第４章 ①人間の尊厳と平等 ②自由･権利と責任･義務	a)・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 b)公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 c)よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。	定期 テスト グループ ワーク	定期 テスト グループ ワーク	授業 ノート グループ ワーク

※令和４年度以降入学生用

1	民主国家における基本原理	第１編 第５章 ①民主政治の成立 ②民主政治の基本原理 ③民主政治の しくみと課題 ④世界の主な政治制度	a)個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について踏まえて、法や規範の意義および役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を解決することなどを通して、権利や自由が保障・実現され、社会の秩序が形成・維持されていくことについて理解している。 b) 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c)よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義および役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期 テスト グループ ワーク	定期 テスト グループ ワーク	授業 ノート グループ ワーク

※令和４年度以降入学生用

2	日本国憲法の基本的性格	第２編-1 第１章 ①日本国憲法の成立 ②日本国憲法の 基本的性格 ③自由に生きる権利 ④平等に生きる権利 ⑤社会権と参政権･請求権 ⑥新しい人権 ⑦人権の広がりと 公共の福祉 ⑧平和主義と わが国の安全 ⑨こんにちの防衛問題	a)我が国の安全保障と防衛などに関わる現代社会の事柄や課題や変化する国際情勢を踏まえて、法や規範の意義および役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を解決することなどを通して、権利や自由が保障･実現され、社会の秩序が形成･維持されていくことについて理解している。 b)自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c)よりよい社会の実現を視野に、多面的･多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義および役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期 テスト グループ ワーク	定期 テスト グループ ワーク	授業 ノート グループ ワーク

※令和４年度以降入学生用

2	日本の政治機構と政治参加	第２編-1 第２章 ①政治機構と国会 ②行政権と 　行政機能の拡大 ③公正な裁判の保障 ④地方自治と住民福祉 ⑤政党政治 ⑥選挙制度 ⑦世論と政治参加	a)・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を踏まえて、法や規範の意義および役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を解決することなどを通して、権利や自由が保障・実現され、社会の秩序が形成・維持されていくことについて理解している。 b)自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c)よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、政治参加の意義、公正な世論の形成、地方自治などに関わる現代社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期 テスト グループ ワーク	定期 テスト グループ ワーク	授業 ノート グループ ワーク

※令和４年度以降入学生用

2	現代の経済社会	第２編-2 第３章 ①経済主体と 　経済活動の意義 ②経済社会の変容 ③市場のしくみ ④市場の失敗 ⑤現代の企業 ⑥国民所得 ⑦経済成長と国民の福祉 ⑧金融の役割 ⑨日本銀行の役割 ⑩財政の役割と租税 ⑪日本の財政の課題	a)雇用と労働問題、財政および租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること、より活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることなどが必要であることについて理解している。 b)自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c)よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期 テスト グループ ワーク	定期 テスト グループ ワーク	授業 ノート グループ ワーク

※令和４年度以降入学生用

2	日本経済の特質と国民生活	第２編-2 第４章 ①戦後日本経済の 成長と課題 ②転機に立つ日本経済 ③経済社会の変化と 中小企業 ④農業と食料問題 ⑤消費者問題 ⑥公害の防止と環境保全 ⑦労働問題と 労働者の権利 ⑧こんにちの労働問題 ⑨社会保障の役割 ⑩社会保障制度の課題	a)多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること、より活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることなどが必要であることについて理解している。 b)自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c)よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期 テスト グループ ワーク	定期 テスト グループ ワーク	授業 ノート グループ ワーク

※令和４年度以降入学生用

3	国際政治の動向と課題	第２編-3 第５章 ①国際社会と国際法 ②国際連合と国際協力 ③こんにちの国際政治 ④人種・民族問題 ⑤軍拡競争から軍縮へ ⑥国際平和と日本の役割	a)国家主権、領土・領海・領空、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現代社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律して国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。 b)自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c)よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国家主権、領土・領海・領空、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現代社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期 テスト グループ ワーク	定期 テスト グループ ワーク	授業 ノート グループ ワーク

※令和４年度以降入学生用

3	国際経済の動向と課題	第２編-3 第６章 ①貿易と国際収支 ②外国為替市場のしくみ ③第二次世界大戦後の国際経済 ④地域的経済統合の進展 ⑤国際経済のつながりと課題 ⑥発展途上国の諸課題と日本の役割	a)経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現代社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解している。 b)自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c)よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト グループワーク	定期テスト グループワーク	授業ノート グループワーク
3	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	第３編 ○探究活動	a)持続可能な社会に関わって、考察や選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b)持続可能な社会に関わって、現代社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。 c)持続可能な社会に関わって、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしており、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについて自覚している。	定期テスト グループワーク	定期テスト グループワーク	授業ノート グループワーク

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度